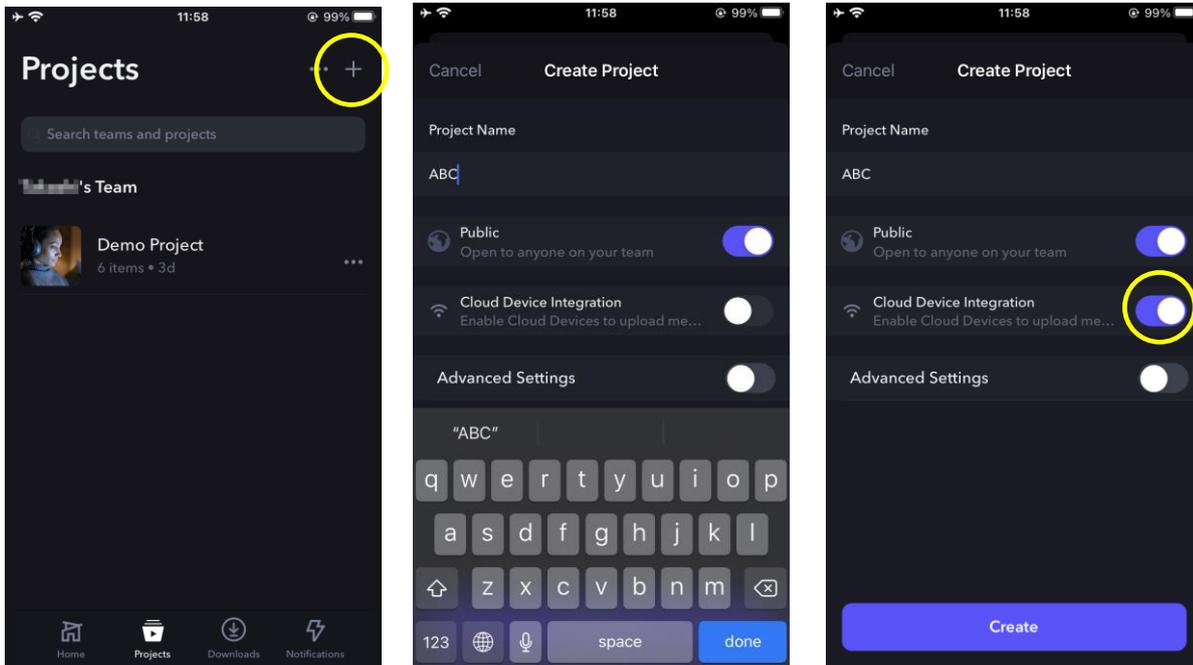


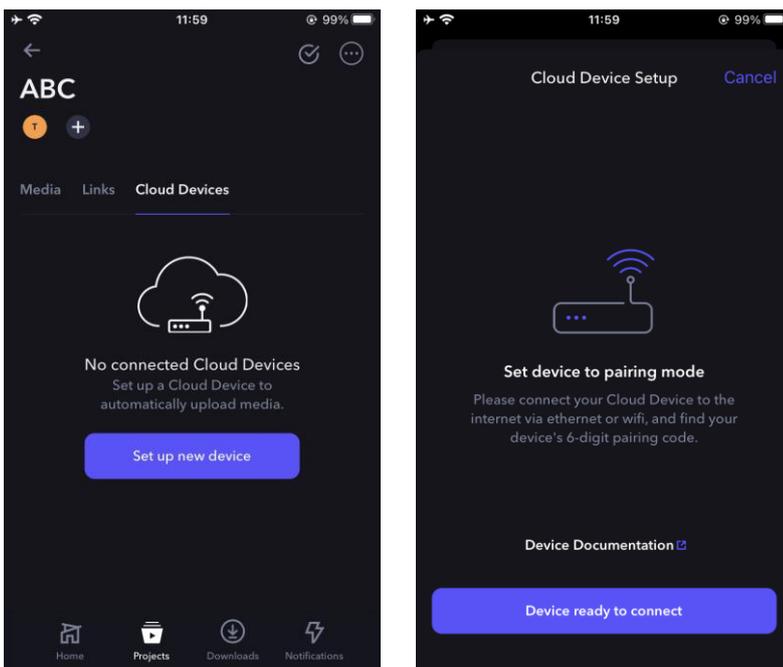
## Sound Devices [SCORPIO/888] の Frame.io クイックガイド

2021/4/7

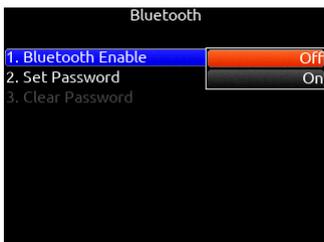
1. iPhone で、Frame.io アプリを起動してログイン状態にします。
2. プロジェクト画面の右上の+（プラス）にタッチして新規プロジェクトを作成します。
3. Project Name に例として 'ABC' と入れます。
4. Cloud Device Integration スイッチを右（ON）にして、'Create' をタップします。



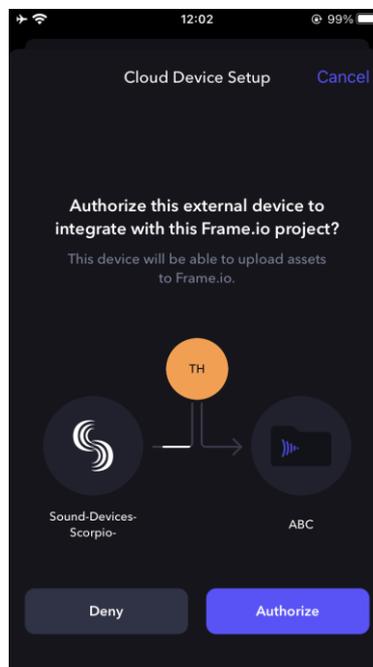
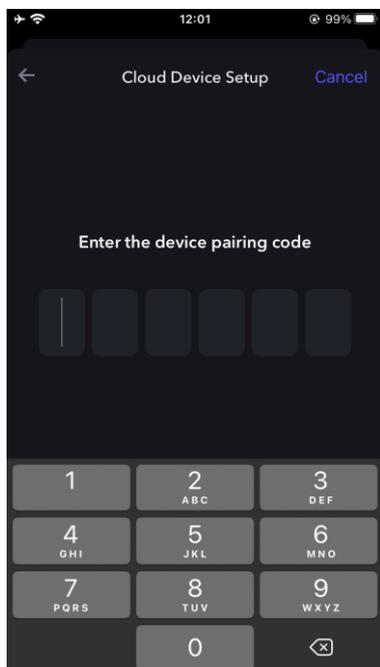
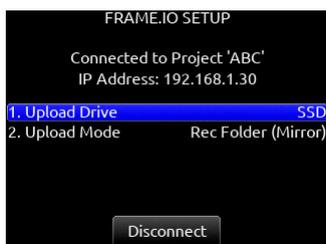
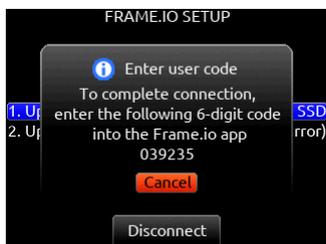
5. 画面の Cloud Devices で、'Set up new device' をタップします。
6. 'Device ready to connect' ボタンが出た状態で、手順 7 に進みます。（ボタンは手順 11 で押します）



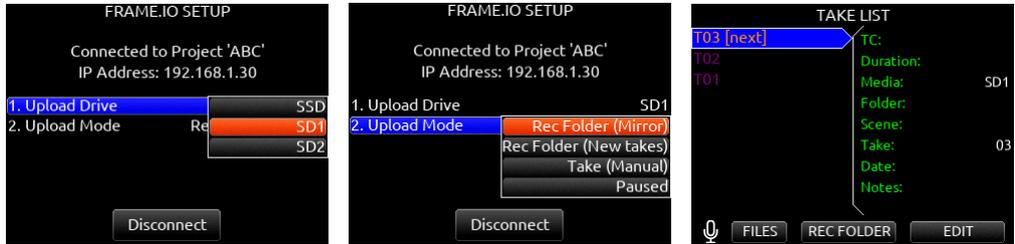
7. Scorpio で、Menu > System > Bluetooth に入り、Bluetooth Enable を 'On' にします。
8. iPhone の Bluetooth 設定を有効にします。
9. Scorpio で、Files > Frame.io に入ります。
10. Scorpio に LAN ケーブルが接続されていて、IP アドレスの表示を確認します。（例：192.168.1.30）
11. iPhone の Frame.io アプリで 'Device ready to connect' をタップします。



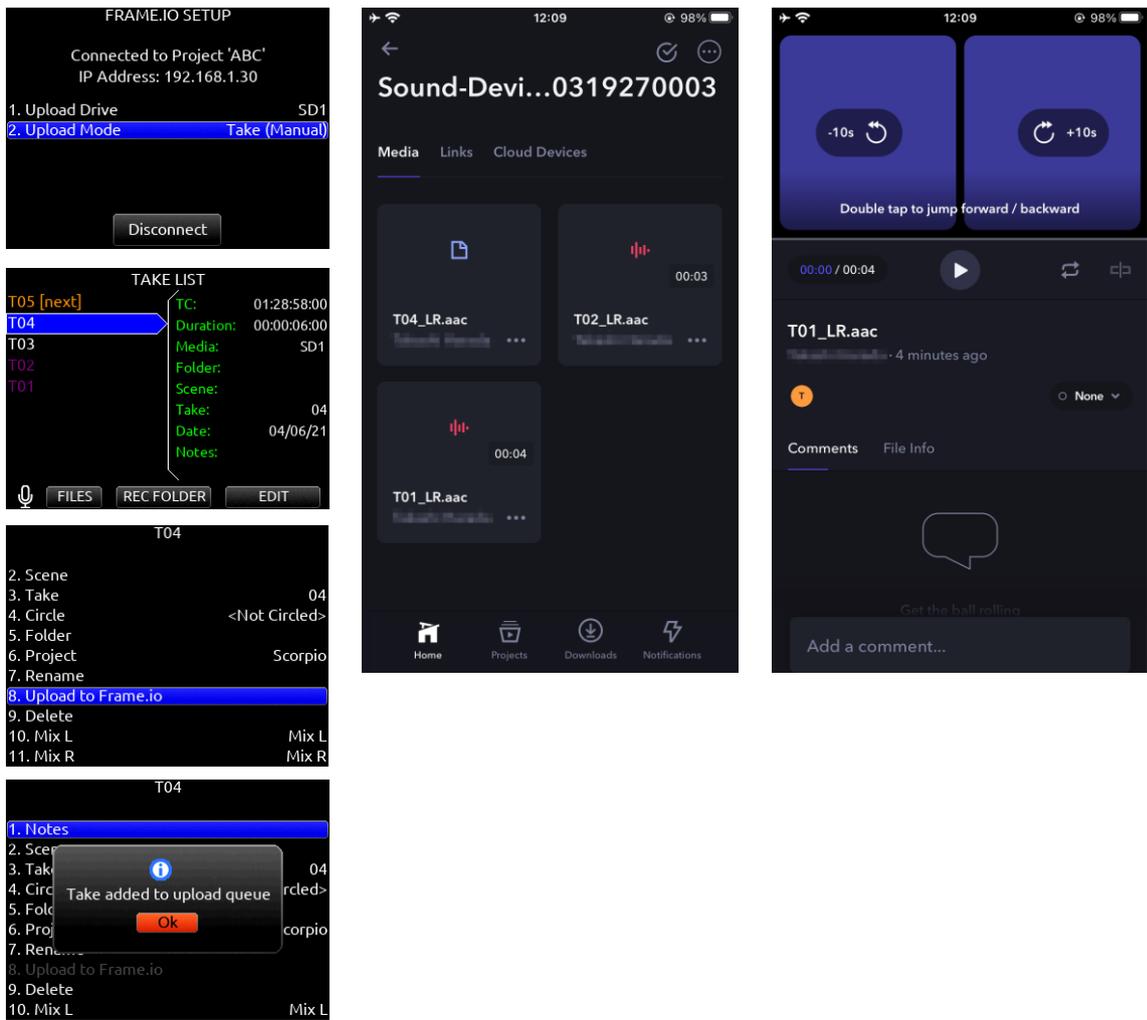
12. Scorpio の画面に、6 桁の数字でコネクション・コードが表示されます。例：039235
13. iPhone にペアリング・コード（例：039235）を入力します。
14. iPhone の 'Authorize' をタップします。
15. コネクション成功すると、Scorpio に 'Connection to Frame.io successful' と表示されます。IP アドレスの上に、接続中のプロジェクト名（例：ABC）が表示されます。



16. サーバーへアップロードする対象ドライブを設定します。  
 圧縮ファイル(.AAC)をアップロードするには、SD カードを設定します。  
 メモ 1 : AAC ファイルにもメタデータは格納されています。  
 メモ 2 : AAC で録音するには、Record/Play > Track To Media Routing で設定できます。
17. Upload Mode を Rec Folder ( 2 つあるどちらか ) に設定すると、録音後に自動的にファイルがサーバーへアップロードされます。
18. テイクリストには、アップロード済のテイク番号の色がパープルで表示されます。



19. Upload Mode を Take(Manual)に設定した場合、テイクリストの EDIT から手動でアップロードできます。
20. サーバーのファイルを再生して iPhone で音を確認できます。  
 ( 3トラック以上の WAV-poly 再生では、インターリーブされた最初の 2 トラックのみ再生。)



## Viviana CLOUD と Frame.io の違い



### 概要 :

イタリア・メーカーの Viviana CLOUD (以降、Viviana ボックス) というハードウェアは、ファイルをインターネットにアップロードするシステムです。iPhone にインストールした無料アプリから Viviana ボックスをコントロールし、ユーザーの持つ Dropbox アカウントにファイルをアップロードできます。(Dropbox 以外にも対応予定) 対象メディアは CLOUD の USB-A ポートに接続されたメディアで、File Transfer モードにした Sound Devices のレコーダーだけでなく、市販の SD カードリーダーも利用できます。

指定されたファイルは、Viviana ボックスから WiFi 通信にてアップロードされます。Viviana ボックスは充電電池内蔵で、USB ケーブル 1 本でデータ転送を実現します。充電には USB-C ポートを利用します。

Viviana ボックスは WiFi か Bluetooth で iPhone のアプリ (Android 版も対応予定) と通信します。スマートフォンの LTE 通信で直接 Dropbox にファイルを転送する場合は、WiFi で通信することになります。

Sound Devices の 8-Series と MixPre-Series だけでなく、Zoom の F8 にも対応しています。

Viviana ボックスにはボタンが 1 つあるだけで、動作状況は LED の点灯状況で確認できます。

Dropbox にアップロードしたファイルを、iPhone で再生して音声データを確認することができるほか、サウンドレポートの作成にも対応しています。

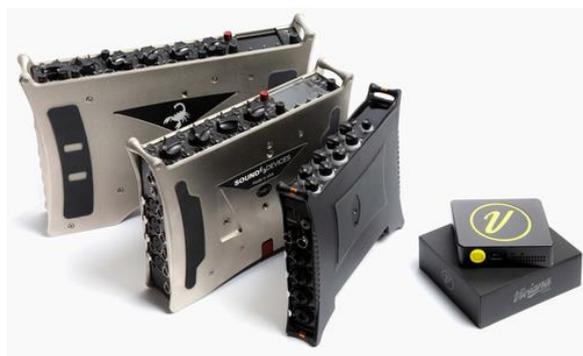
### Frame.io と Viviana CLOUD :

Dropbox と Frame.io は、どちらも無料で 2GB のサーバーを利用できます。Dropbox Pro は月額 1,200 円で 1TB まで、Frame.io Pro は月額 15 ドルで 250GB (Active Storage) を利用できます。(2021 年 4 月現在)

無料契約の 2GB では少なすぎるので、どちらを選んでも、有償でウェブサービスの利用は必須となりそうです。なお、Viviana ボックスと通信させるためにレコーダーを File Transfer

モードにすると録音作業はできなくなります。収録しつつ並行してアップロード作業したい場合は、収録の合間に SD カードを差し替えて、市販のカードリーダーを使ってアップロードできます。

Sound Devices の 833 や MixPre-Series は LAN ポートを持たないため Frame.io を利用できません。これらの機種は Viviana CLOUD を利用できます。



end